

陳情第84号	受理年月日	平成27年6月9日
付託委員会	教育水道委員会	
陳情者	小倉北区熊本三丁目16-1-501 北九州市立足原幼稚園後援会 会長 鵜殿 未来哉 (署名 893人)	
件名	足原幼稚園の存続について	H27.7.10:423名署名追加 H27.8.10:552名署名追加 H27.8.12:260名署名追加
要旨	<p>北九州市は平成26年2月に発表した行財政改革大綱において、公立幼稚園については、研究実践機能を担うために必要な園数で運営する方向としている。</p> <p>文部科学省のホームページによれば、幼児期には、知的・感情的な面、また、人間関係の面で経験しておかなければならないことを十分に行わせることが不可欠とされている。</p> <p>足原幼稚園は近くに公園が多く、園庭の芝生化が実施されるなど、地域の自然環境や四季の変化に触れながら園生活を送ることができる環境にあり、運動場も市立幼稚園の中で最も広く、子供たちの体力や運動能力を向上させる重要な役割を担っている。</p> <p>園舎も平成15年7月に大規模改修工事が行われ、今後の施設に係るコストは他の園に比べて優位にある。</p> <p>また、同幼稚園は、足原小学校に隣接していることから、教育委員会が進めている幼小連携のモデル校であり、人権教育においても社会同和人権教育講座での発表や人権教育推進協議会等での活動を通じ、30年以上前から霧丘中学校区での人権教育推進の一翼を担っている。</p> <p>近年は、発達障害等の障害がある子どもが増えており、足原幼稚園にも複数の発達障害児が在園している。足原小学校との幼小連携活動等を通じて不安感の強い子供たちの就学への不安を払拭する役割を担うとともに、定型発達の子供たちの小1プロブレム対策上も非常に有効なものであると考える。</p> <p>少子化の進展や財政難など公立幼稚園を取り巻く状況は大変厳しいこ</p>	

(続 く)

とは理解できるが、施設の状況、周辺の環境や研究実践機能の成果等から見て足原幼稚園を閉園する理由は見当たらない。

存続させる幼稚園は、実際に通園し、生活し、学んでいる幼児の視点から選出していただくとともに、公立小学校の教員免許を所持する質の高い先生の指導が受けられ、幼児期を過ごすために恵まれた環境にある足原幼稚園を存続させていただきたい。